

【調査目的】本調査は、中小企業退職金共済（以下、「中退共」という。）加入企業における加入経路及び加入状況の実態について把握するとともに、事務手続等に対する要望等を調査し、サービス向上及び今後の中退共のあり方を検討する基礎資料とする。

【調査対象】中退共に加入している共済契約者の中から6,000社を抽出

【調査方法】郵送配布、郵送回答ならびにWEB回答

【有効回答】3,135件（郵送回答：1,504件、WEB回答 1,631件） ※回収率：52.3%

【調査期間】令和5年（2023年）11月17日（金）～12月25日（月）



調査結果サマリー

中退共について	① 中退共加入の契機	<ul style="list-style-type: none"> ○興味を持ったきっかけ ▶P2へ 人からの紹介では「税理士・公認会計士等(20.5%)」、メディア媒体では「中退共のパンフレット(6.4%)」が最も高い。 ○加入の決め手 ▶P2へ 「退職金が確実に支払われる(58.6%)」→「掛金が全額非課税になる(30.7%)」の順に高い。 	「確実な支払」と「軽い事務負担」が魅力です 金銭面のメリットもあります
	② 確実に退職金をお受け取りいただくために	<ul style="list-style-type: none"> ○「加入通知書」の配布有無 ▶P3へ 「渡している」割合は69.7%で改善傾向。 残りの29.4%は「紛失を防ぐため(51.4%)」を理由に渡していない。 ○「加入状況のお知らせ」の配布有無 ▶P3へ 「渡している」割合は65.9%で改善傾向。 残りの31.9%は「会社で保管するものと思った(39.2%)」、「紛失を防ぐため(39.0%)」を理由に渡していない。 	加入通知書と加入状況のお知らせは従業員の皆様にお渡しください
	③ ホームページについて	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページの利用実態 ▶P4へ 認知率は「ホームページ(PC版)」が74.4%、利用率は31.8%。 直近の利用時期は「3か月以内」が29.1%。 ○ホームページの説明の使いやすさ・リニューアルの評価 ▶P4へ 「手続き方法(39.6%)」、「手続様式見本集のダウンロード(31.1%)」がよく利用されている。 2023年6月のリニューアル後は、「制度の概要(42.9%)」をはじめ、手続き関連で使い勝手が改善したと評価。 	より使いやすくわかりやすいホームページを目指しています
	④ 加入企業のご意見	<ul style="list-style-type: none"> ○手続きに関するご意見・ご要望 ▶P5へ 多いのは「掛金月額変更(37.3%)」、「退職手続き(35.4%)」。 ○その他制度へのご意見・ご要望 ▶P5へ 多いのは「役員加入の容認(21.8%)」、「安心安全な資産運用(11.6%)」、「懲戒解雇者への退職金支給取り止め(10.7%)」。 	安心して利用しやすい制度を目指します
	⑤ 退職金制度の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○退職金制度の利用状況 ▶P6へ 中退共と他制度を併用している割合は21.8%。 導入目的は「従業員の生活の安定」「従業員の慰労」が50%超え。 短時間労働者が加入している割合は11.5%。 	退職金制度は従業員の安心につながります
	⑥ 人材確保策としての退職金制度	<ul style="list-style-type: none"> ○退職金制度の導入効果 ▶P7へ 求人時にアピールし、人材獲得面の効果があった割合は33.4%。 従業員の定着率やモチベーションが向上した割合は35.6%。 	退職金制度は求人時のアピール材料になります

中退共に興味を持ったきっかけ (2023年)

専門家からの紹介・推奨が興味を持つ最大のきっかけ
メディア媒体では、中退共のパンフレットを閲覧する方が最多

中退共に興味を持ったきっかけ〈人からの紹介〉TOP10

(複数回答、%)



中退共に興味を持ったきっかけ〈メディア媒体〉TOP10

(複数回答、%)



中退共の
ホームページも
ご覧ください

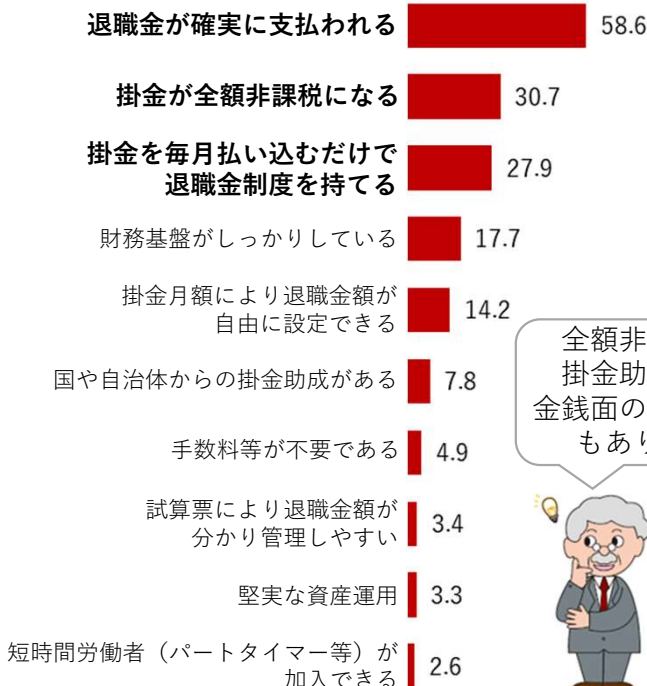


中退共加入の決め手 (2023年)

中退共加入の決め手は、退職金が確実に支払われる安心感と、制度導入のお手軽さ
退職金制度設計の相談先は、専門家が最多

中退共加入の決め手 TOP10

(複数回答、%)

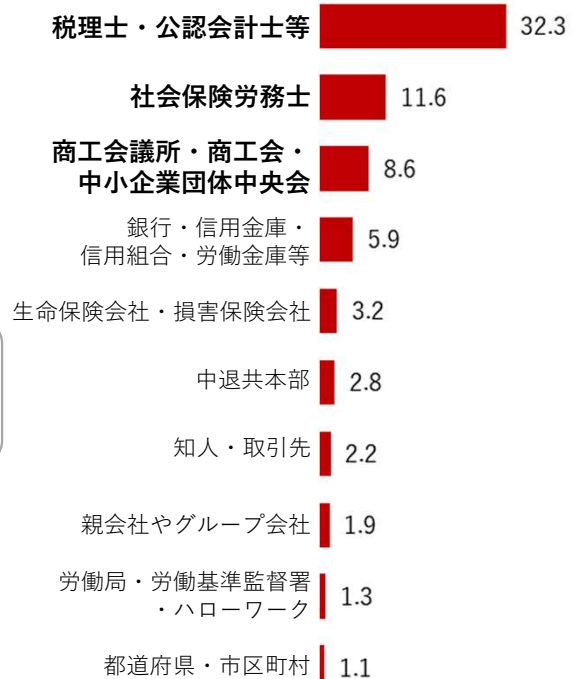


全額非課税や
掛金助成等、
金銭面のメリット
もあります



退職金制度の設計検討時の相談先 TOP10

(複数回答、%)



確実に退職金をお受け
取りたい方々のために

ホームページについて

加入企業のご意見

退職金制度の内容

人材確保策としての
退職金制度

中退共からのご案内

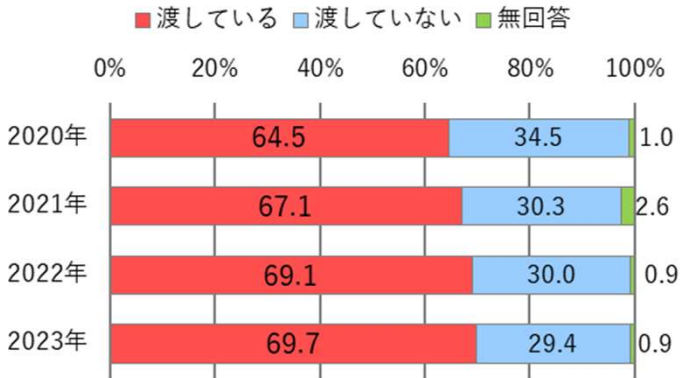
「加入通知書」の配布有無と理由

■ ※3年前 (2020年%) ■ ※前々回 (2021年%) ■ ※前回 (2022年%) ■ 2023年%

加入通知書を渡す契約者は増加傾向も、引き続き30%が「渡していない」
「渡していない」理由は前回に続き「紛失を防ぐため」が最多

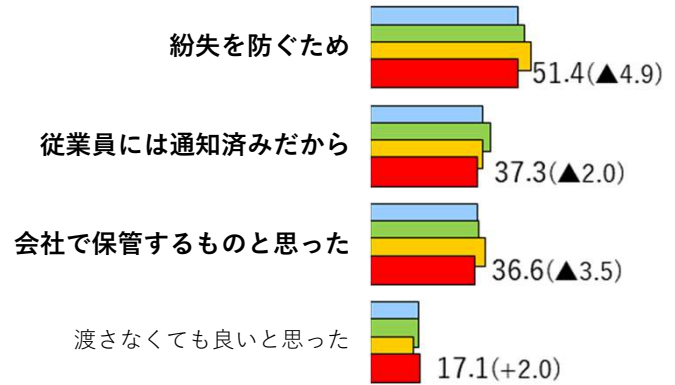
「加入通知書」の配布有無

(単一回答、%)



「加入通知書」を渡していない理由 TOP4

(複数回答、%)



確実に退職金をお受け取りいただくために

ホームページについて

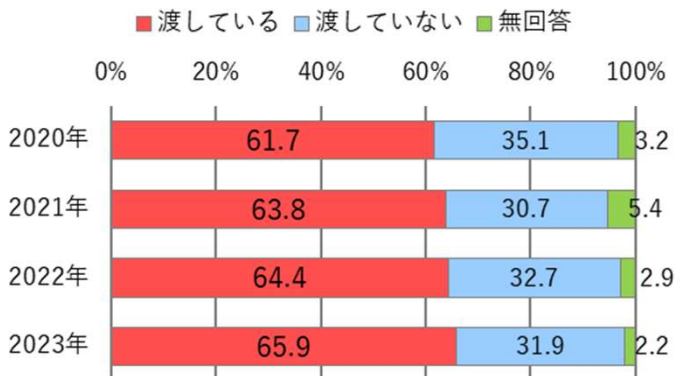
「加入状況のお知らせ」の配布有無と理由

■ ※3年前 (2020年%) ■ ※前々回 (2021年%) ■ ※前回 (2022年%) ■ 2023年%

加入状況のお知らせも渡す契約者が増加傾向も、引き続き30%強が「渡していない」
「渡していない」理由は前回に続き「会社で保管するものと思った」が最多

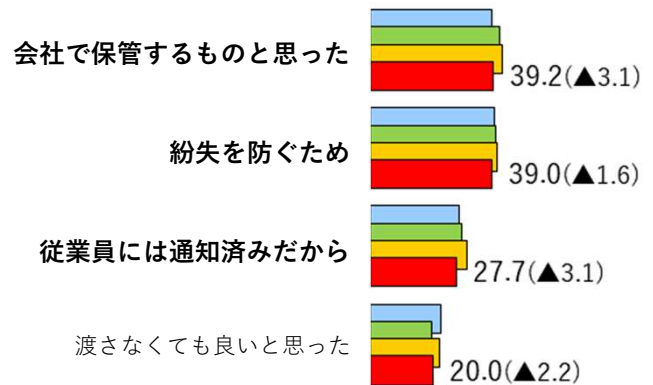
「加入状況のお知らせ」の配布有無

(単一回答、%)



「加入状況のお知らせ」を渡していない理由 TOP4

(複数回答、%)



加入企業のご意見

退職金制度の内容

人材確保策としての退職金制度

中退共からのご案内

「加入通知書」や「加入状況のお知らせ」はご本人へのお知らせで、
保管するものではありません。

確実に退職金をお支払いするために

必ず従業員の皆さまにお渡してください！



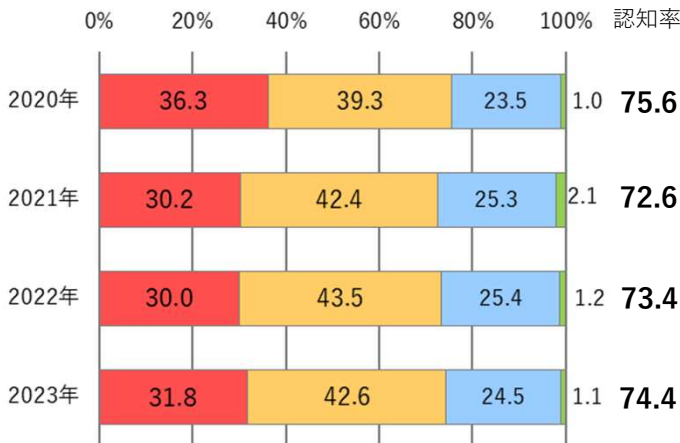
ホームページの利用実態

ホームページは認知率こそ高いが、利用したことがある方は30%強
直近3か月以内に利用した方は約30%

ホームページ（PC版）の利用経験

(単一回答、%)

- 利用したことがある
- あることは知っているが利用したことはない
- あることを知らなかった
- 無回答

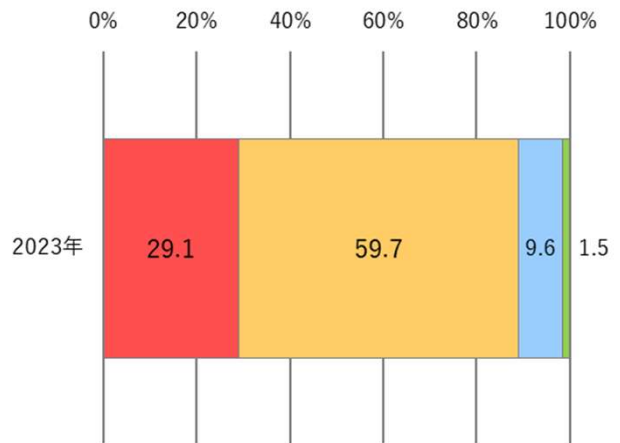


※認知率 = 「利用したことがある」 + 「あることは知っているが利用したことはない」

直近の利用時期

(単一回答、%)

- 3か月以内
- 半年以内～1年以上前
- 覚えていない
- 無回答



※対象：ホームページの利用経験あり

ホームページの使いやすさ・リニューアルの評価

手続き関連で利用度が高く、制度の概要説明などを含め、使い勝手が改善したと評価

利用内容 TOP6

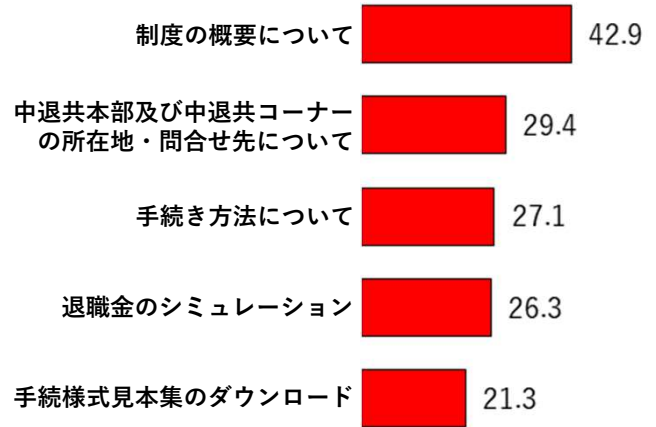
(単一回答、%)



※対象：ホームページの利用経験あり

2023年6月のリニューアルで使い勝手が改善された内容

(複数回答、%)



※対象：リニューアル後にホームページの利用経験あり

より使いやすいホームページを目指しています。

ぜひご利用ください！

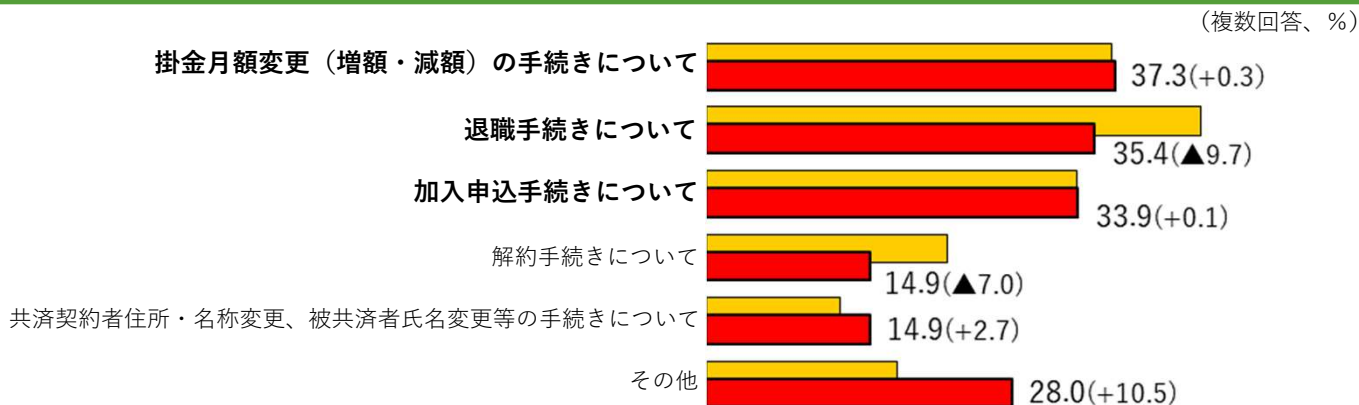


中退共の手続き方法に関するご意見

■ : ※前回 (2022年%) ■ : 2023年%

多いのは「掛金月額変更の手続き」「退職手続き」「加入申込手続き」に関するご意見

中退共の手続き方法に関するご意見・ご要望



「その他」では「WEBでの手続きを可能に」との要望が多く挙がりました

中退共制度へのご意見

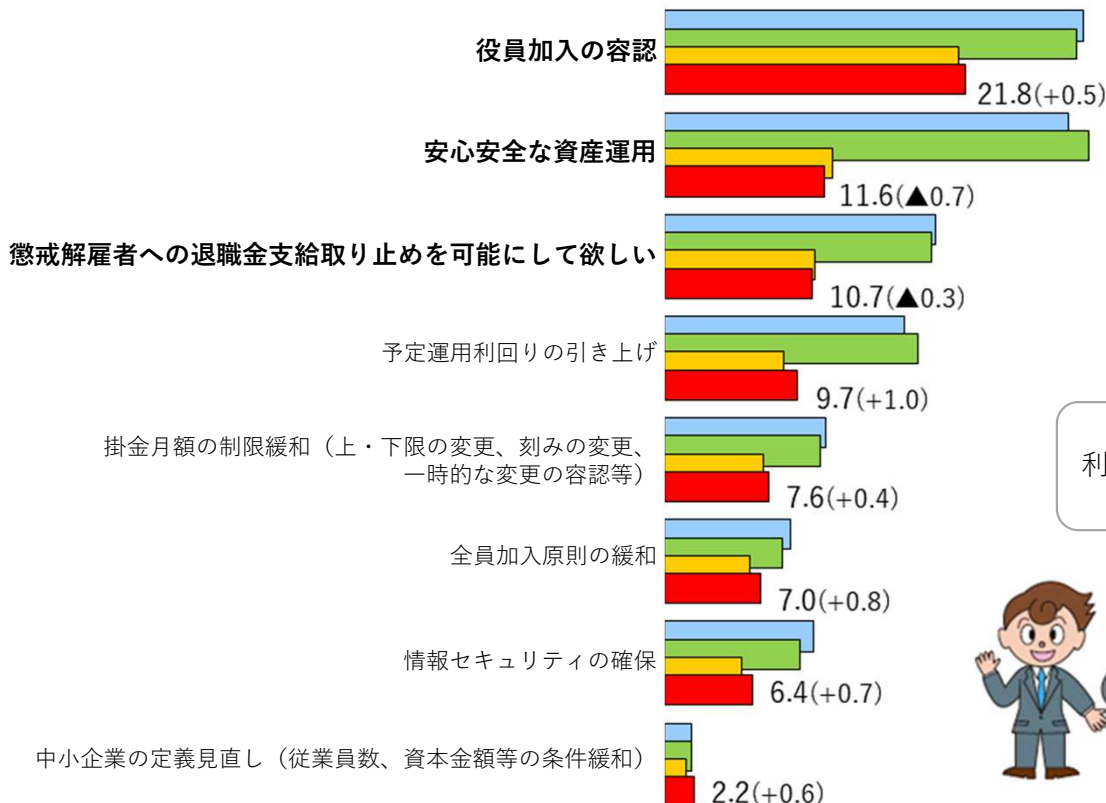
■ : ※3年前 (2020年%) ■ : ※前々回 (2021年%) ■ : ※前回 (2022年%) ■ : 2023年%

「役員加入の容認」が最多
「安心安全な資産運用」に関する要望も多い

※2022年から設けた「特にない」の選択肢に回答が集まった結果、全体的に数値が低下

その他中退共制度へのご意見・ご要望

(複数回答、%)



安心して
利用しやすい制度
を目指します



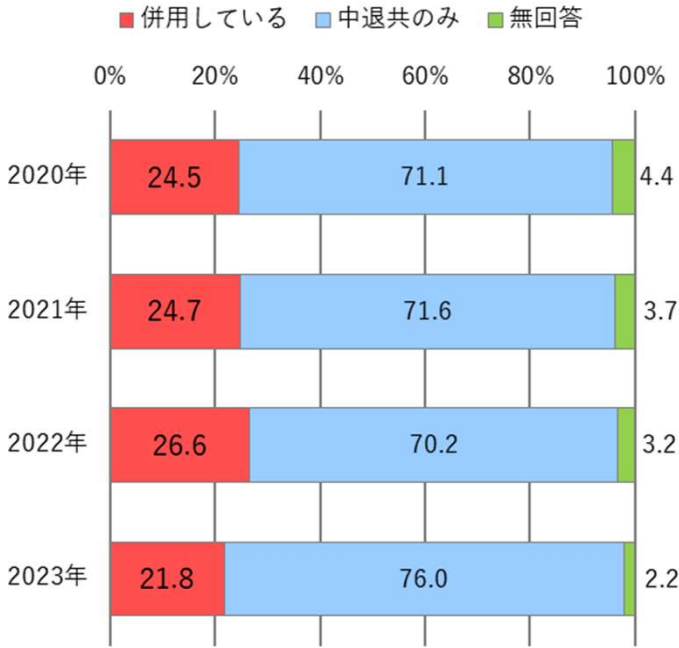
退職金制度の利用状況

■ ※3年前 (2020年%) ■ ※前々回 (2021年%) ■ ※前回 (2022年%) ■ 2023年%

中退共と他制度を併用している契約者は20%強
併用理由は「中退共のみでは退職金の目標金額に到達しないから」が引き続き最多

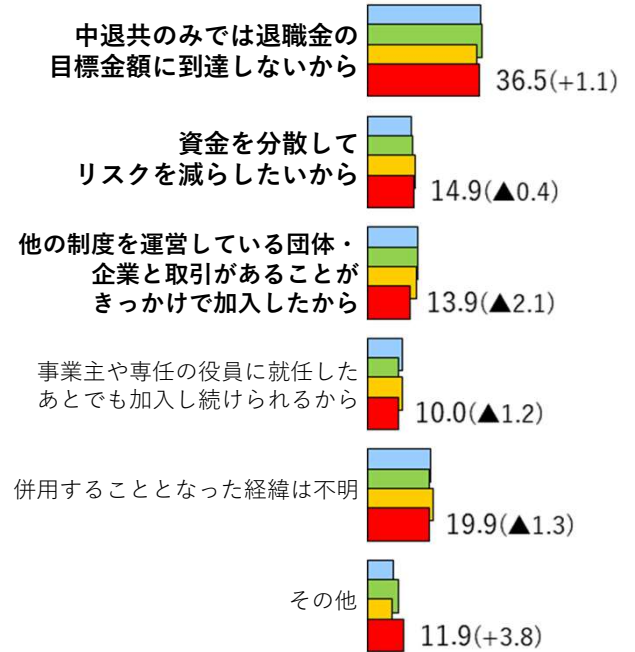
中退共と併用している制度の有無

(単一回答、%)



他の制度を併用している理由

(複数回答、%)

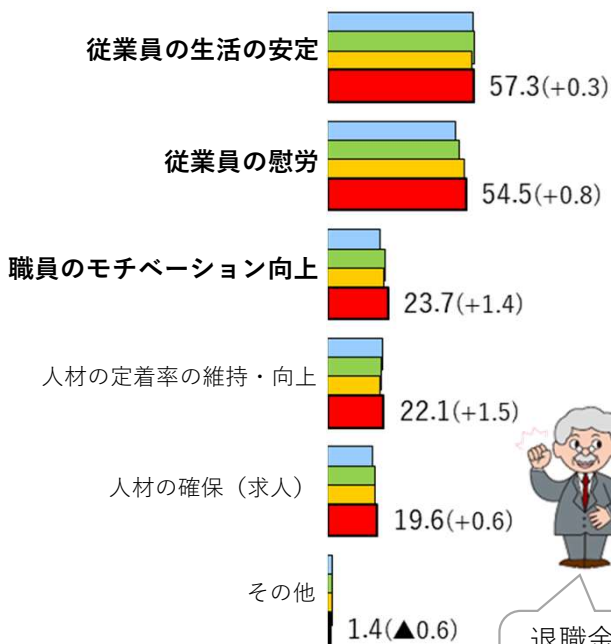


※対象：併用している契約者

導入目的は「従業員の生活の安定」と「従業員の慰労」が多い

退職金制度導入の目的

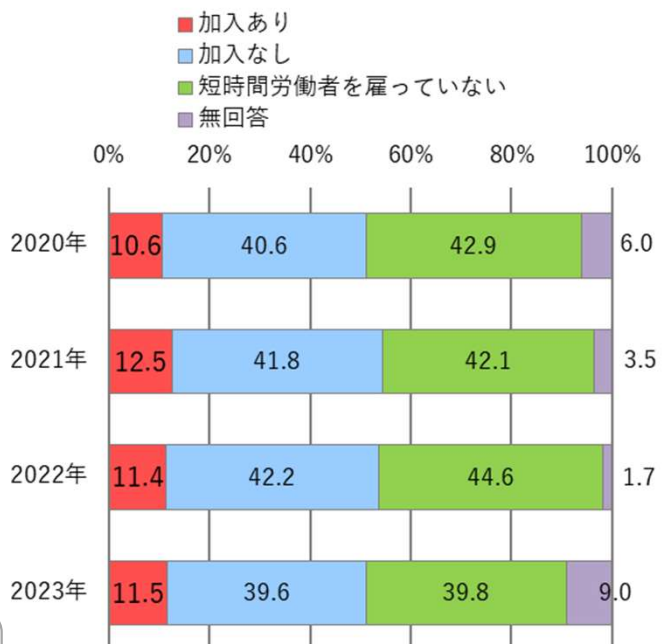
(複数回答、%)



短時間労働者が加入している契約者は10%強

短時間労働者の中退共加入有無

(単一回答、%)



退職金制度の導入効果

求人時に退職金制度をアピールする契約者が60%強
約1/3が人材獲得面での効果を実感している

求人時のアピール有無

(単一回答、%)

■ アピールした ■ アピールしなかった ■ 無回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%

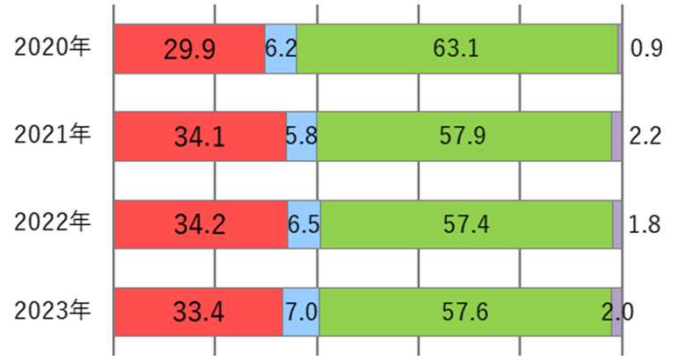


求人時のアピール効果

(単一回答、%)

■ 効果があった ■ なかった ■ わからない ■ 無回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%



※対象：求人時にアピールした契約者

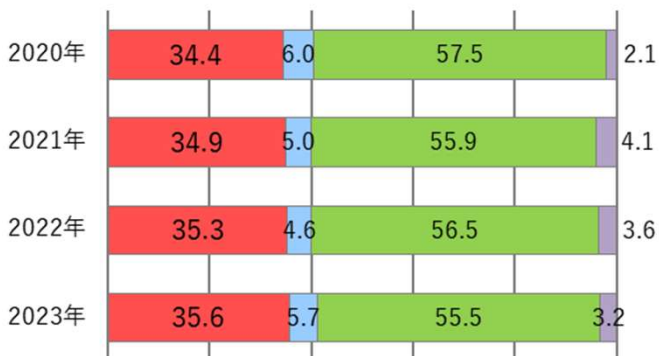
約35%が、退職金制度によって従業員の
定着率やモチベーションの向上を実感

従業員の定着率やモチベーション向上の有無

(単一回答、%)

■ 向上した ■ 向上しなかった ■ わからない ■ 無回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%



退職金制度は
求人時のアピール材料や、
従業員の定着率向上・
モチベーションアップの
対策になります



中退共 検索

独立行政法人勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部



この概要版は、中退共のホームページに掲載しています

<https://www.chutaikyo.taisyokukin.go.jp/>

[トップページ] > [情報公開] > [統計資料] >

[加入企業の実態に関する調査結果の概要]

**参加
無料**

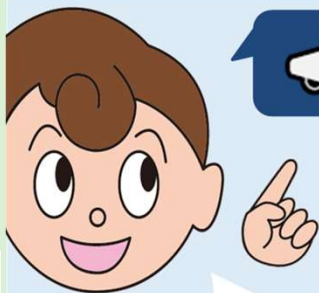
オンライン説明会 開催中！

中退共制度の**加入条件**、**メリット**や**注意点**など、
加入をご検討中のお客様が**気になるポイント**を詳しくご説明いたします。

また、お問い合わせの多い**過去勤務期間通算制度**についても
分かりやすくご説明いたします。

当日は、**質疑応答**のお時間も設けておりますので、
制度内容や手続きについてご不明な点がございましたらご質問ください。

QRコードから
HPにアクセス！



加入者の皆様 から中退共へ寄せられた **声** をご紹介します！

退職金額の目安

掛金が
毎月10,000円
の場合

5年後 ▶ **608,200円**

10年後 ▶ **1,265,600円**

20年後 ▶ **2,666,600円**

※金額は法令の改正により
変わることがあります。

小規模の会社のため、従業員に対して
福利厚生が不十分であることが課題でした。
少ない掛金で、
長期間無理なく退職金を準備できる
中退共へ加入したことで従業員の
離職率も減ったと実感しています。

**会社の規模や状況に合わせて
掛金を設定できる**ところが良いです。
安心して、定年まで働いてもらえるための
大切な制度です。
経営者としては、**事務手続きが簡単で
わかりやすい**ので助かっています。

従業員の**モチベーションの向上**に
役立っています。
長く働いている従業員からは、
退職金が増えていくのが楽しみ
との声を聞きます。
小企業のため、中退共制度を利用しないと
退職金の準備が難しいので、**これからも
加入し続けたい**と思います。

以前は中退共に加入していない会社で働い
ていましたが、今の会社は中退共に加入し
ていると聞いて**安心**しました。
家庭を支えるためにも、この会社で**長く
勤めていきたい**です。
会社への安心感、信頼があることで、
仕事の**モチベーション**もあがります。

独立行政法人勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部



<説明会に関するお問い合わせ先>

中小企業退職金共済事業本部 事業推進部加入促進課

TEL：03-6907-1234

